

# 不撓不屈

ふとうふくつ

教育追いつかず

半導体・電子部品商社の明光電子（横浜市港北区）は「会社を大きくしない」を社訓に掲げる。社長の十川正明がこう定めたのには理由がある。2006年に横浜市の拠点を本社に昇格し、福岡との両本社制を導入した。十川自ら横浜に常駐し「5年後に上場、20年後に1兆円企業」という目標を掲げた。例年2〜3人だった新卒採用を06

## 明光電子

④

### 会社を大きくしない

年から毎年10人に増やしい。何が起きても動かし、5年間で計50人を「ない会社にしていく」と気に雇った。新人教育に経営方針を大きく転換し力を入れて会社を成長させた。せよと意気込んだ。

IoTに対応

だが、電子部品は専門性が高く豊富な知識が求められ、すぐに技術力が身に付くはずはない。大い。その裏方に徹した量採用に教育が追いつかず「一人前になるには5年以上はかかる」と悟った。

## 同時並行・プラス思考求める

そこにリーマン・ショックが襲いかかり、業績が急落。新卒採用した50人の9割近くに辞めてもらった。この反省から「少しづつ大きくすれば



明光電子が提供するIoTソリューション

16年にトロン関連の授が会長を務めるフォーラムにも参加する。中央が十川社長

「これからは無線が肝になる」と見る。ドローンも開発

十川は今も社員教育に熱心だ。例えばメンタル面で「マイナスイオンをプラスに変え、脳の働きをプラスに転換することを勧める」。「お疲れさま」ではなく「お楽しみ」

「半年先を見て手を打つ。とにかく先を見よう」。常に最先端の電子部品を追い求める十川は、今日も社員を鼓舞する。（敬称略）（この項おわり。横浜・高島里沙が担当しました）